

6. その他河川整備を総合的に行うために留意すべき事項

6.1 関係機関・地域住民等との連携

災害発生の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備と保全を行うにあたっては、上流から河口までの流域全体のバランスのほか、流域の土地利用、河川利用の状況や自然空間、水辺空間、河川景観の状況、川と人との結びつきがもたらす地域のつながり等を考慮し、地域住民や関係機関等と連携しながら流域一体となって総合的に河川整備を行う必要があります。

このため、白川を常に安全で快適に利用し、適切に管理する機運を高め、より良い河川環境を地域ぐるみで形成していくことを目的に、積極的な広報活動や幅広い情報提供を行いながら、地域住民と行政の連携が深まるよう努め、地域住民等と協働した河川整備、河川管理の推進を図っていきます。



写真 6.1.1 平成24年7月出水による激特事業での河川整備に関する地域との意見交換会の状況



写真 6.1.2 「緑の区間」整備について専門家、地元自治会等で構成される白川市街部景観・利活用検討会の状況



写真 6.1.3 児童による立曳工法実施状況



写真 6.1.4 白川流域リバーネットワーク：白川流域の環境保全を目的とし、河川愛護活動等に取り組む住民団体等が相互に情報交換と人的交流を行い、官民の連携協働体制づくりに取り組んでいる

6. その他河川整備を総合的に行うために留意すべき事項

6.2 コミュニティの形成への支援活動

近年の異常な集中豪雨が頻発する気象状況のもとでは、想定を上回る洪水が発生する可能性も高く、特に白川では市街中心部への氾濫も想定されるため、災害時の安全かつ迅速な避難は重要です。一方、今後の高齢化社会においては、災害時に支援を必要とする方々が増加することは必至であり、これらの方々を支援するためには、近隣に居住する方々がお互い協力して助け合う地域社会を再構築し、地域の防災力を高めて行く必要があると考えます。

このため、地域における防災力向上の取組や河川環境の保全の支援等、白川を活用した地域活動をとおして、地域の身近なコミュニティの形成、さらには流域全体に広がる大きなコミュニティの形成につながるような、地域防災リーダーの育成や自主防災組織の強化・拡充に資するための出前講座など支援活動等を行っていきます。



写真 6.2.1 地域コミュニティセンターへの実績浸水標識設置の取組（熊本市本荘地区）

6.3 地域振興に資する水辺を活かしたかわづくり・まちづくり

「緑の区間」は、元来、緑量豊かな河川景観が「森の都くまもと」を代表するものとして、多くの市民の憩いの場として親しまれてきた場所です。この河川空間を市民・民間事業者のアイデアや活力を最大限活かす空間として活用し、水辺の賑わい創出や魅力あるまちづくりに貢献できるような環境づくりを行うことが重要です。

このため、水辺とまちが一体となった美しい景観と新しい賑わいを生み出すため「白川ミズベリング 74」として試行を継続し、協議会を設立の下に、民間による営利活動実施のための「都市・地域再生等利用区域」に指定し、恒常的な水辺の賑わいの拠点を目指します。

また、「緑の区間」以外においても、地区の特性に応じた取組を支援します。



写真 6.3.1 「緑の区間」での「ミズベリング白川 74」の状況



写真 6.3.2 「白川夜市」の状況

6. その他河川整備を総合的に行うために留意すべき事項

6.4 河川情報の発信や共有、環境学習支援等

白川の特性と地域風土や歴史・文化を踏まえ、「白川らしさ」を活かした河川整備を進めるために、ホームページ・SNS・広報誌による情報発信やラジオ、テレビ、新聞等の報道機関と連携した広報活動、地域住民や小中学校への防災教育や出前講座等、住民との合意形成に向けた情報の共有、意見交換の場づくり等、関係機関等や地域住民との双方向コミュニケーションを図るため積極的な情報発信や共有に努めます。

さらに、水生生物調査、イベント、環境学習等、水辺での自然体験活動等を支援し、自然体験活動の指導者育成を支援するとともに、将来の地域を担う子供達への環境学習を積極的に支援する等の活動を行っていきます。



写真 6.4.1 白川での水生生物調査



写真 6.4.2 白川の自然体験活動の事例

6.5 白川地域防災センターの活用

白川地域防災センター（白川わくわくランド）は、白川の歴史や役割、川の仕組みなどを楽しみながら学ぶことによって、白川をもっと身近に、もっと親しみのあるものにすることを目的とした施設で、川の学校「寺小屋」をコンセプトとして、川の体験学習・地域住民の交流・川の情報発信の「場」として運用しています。主な活動としては、白川流域をフィールドとした河川防災や河川環境、水難事故防止、河川愛護等の体験学習や座学を「白川わくわくランド寺小屋」として年間を通じて開催するほか、同内容に関する出前講座、また、親子流域体験や上下流交流学習などの体験学習を開催しています。

施設の機能の更なる向上や必要に応じた改善を図るとともに、住民団体等と連携した運営体制を積極的に導入し、白川だけにとどまらない幅広い利活用が出来る施設として、地域のニーズに即した地域防災センターを目指します。